

横浜市交通政策推進協議会

第14回モビリティマネジメント推進部会 会議要旨

日時	平成31年4月3日(水) 18:00~20:00
開催場所	横浜市役所本庁舎6階 A会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渡邊 聡(暮らしフォーラムにし)</li> <li>・鏑木 孝昭(横浜交通まちづくり協議会)</li> <li>・松川 由実、古川洋 (特定非営利活動法人横浜にLRTを走らせる会)</li> <li>・小田部 明人(横浜の公共交通活性化をめざす会) ※部会長</li> <li>・浅井光洋</li> <li>・小池由美</li> <li>・塚田俊洋</li> <li>・横浜市都市整備局都市交通課(事務局)</li> </ul>
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成30年度の活動の振り返りについて</li> <li>(2) 平成30年度ならびに31年度の横浜市のMM取組について</li> <li>(3) モビリティマネジメント推進部会での今後の取組について</li> <li>(4) その他</li> </ul>

議事要旨

(1) 平成30年度の活動の振り返りについて 事務局が資料1を説明し、平成30年度の活動の振り返りを確認した。特に意見なし。	
(2) 平成30年度ならびに31年度の横浜市のMM取組について 事務局が資料2を説明し、平成30年度ならびに31年度の横浜市のMM取組を確認した。特に意見なし。	
(3) モビリティマネジメント推進部会での今後の取組について 資料3の「1. 継続案件」について事務局が説明を行った。	
(主な意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続案件3のシンポジウム企画書の第四部については、市民の方の交通政策の推進・決定への参加を促すため、MM部会の活動報告を行い参加者にシンポジウムを通じてMMに興味を持ってもらうこと、今後行う予定のMM部会委員募集の周知に繋がること、を目的とする内容にすべきである。</li> <li>・第四部の登壇者は部会長の小田部委員とする。</li> </ul>
資料3の「2. 新規案件」について各委員が説明を行った。	
(主な意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規案件①については、同一事業者内での交通手段を対象とし、意見交換等を行うことが適切。具体的には市交通局との意見交換を想定する。</li> <li>・新規案件②については、既に様々な観光案内等が存在するため、新規で作成するのではなく、公共交通の利用を促進してもらえるよう、既存の観光案内等の作成者に働きかけることが適切と考える。</li> <li>・新規案件③④については、過去の検討経緯も踏まえ、学校や先生の意識改革も踏まえ検討していくべき。</li> <li>・新規案件⑤については、例えば神奈川県内を対象に検討を進めてはどうか。ただ</li> </ul>

	<p>し更新頻度の課題があると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規案件⑥については、若い世代に地域交通に興味を持ってもらうために効果的な取組であると考え。一方、高齢者にも使いやすい成果物でなければならない。</li> <li>・新規案件⑦については、今一度、利用者に対し、MMを推進する考えを理解してもらうことで、利用者の増加につながる活動をしたいという提案である。</li> </ul>
<p>今後の取組方針について</p>	
<p>(主な意見)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず継続案件の①～③をMM部会全体として取り組み、各自が提案した新規案件については、MM部会全体として何ができるかをさらに具体的に検討していく事となった。</li> </ul>
<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「特定非営利活動法人 横浜にLRTを走らせる会」の松川委員が同会の古川氏に交代となることを確認した。</li> <li>・横浜市交通政策推進協議会の市民委員推薦について、鏑木委員に代わり小池委員を推薦することを確認した。</li> <li>・部会同士の交流・意見交換について積極的に行うべきと委員から意見があった。</li> </ul>	